

# 健康 コラム

## リハビリテーション科の 紹介



秋田厚生医療センター

リハビリテーション科 技師長

やまあさ

つとむ

山浅 勉

当リハビリテーション科は医師3名、理学療法士14名、作業療法士8名、言語聴覚士4名、看護師1名、メディカルクラーク1名の計31名が所属しています。このスタッフの中には心臓リハビリテーション指導士4名、3学会合同呼吸療法認定士2名、認定言語聴覚士(摂食・嚥下障害領域)1名、糖尿病療養指導士2名、日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー2名、がんのリハビリテーション研修課程修了22名とさまざまな疾患に対応できるようにそれぞれの分野のスペシャリストが揃っています。高齢化が進む中、骨折で入院された患者さんが心疾患や呼吸器疾患、糖尿病などと合併していることは珍しくありません。このような患者さんに対して多角的に評価し安全にそして速やかに

回復できるようにリハビリテーションを行っています。

また当科では今年6月よりチーム制を導入しました。当院の基本理念である①患者

中心の医療の実践②質の高い医療の提供を行うことを目的としています。チーム制は理学療法士2〜3名と作業療法士2名、計4〜5名のスタッフがチームを組んで1人の患者さんを担当します。これにより1人の患者さんに複数のスタッフが関わるため従来の担当制に比べスタッフ間のコミュニケーションが増え、

若手スタッフの育成が可能となり、結果的に治療の質の向上に繋がっていると考えています。

最後にリハビリテーションスタッフは体の動きを診る専門家です。五十肩、腰痛、膝痛など運動器(骨、関節、筋肉)の痛みは普段の姿勢や動作に起因することがあります。壁に背中をつけて背筋を伸ばして立ち、あごを引いて後頭部を壁につけてください。これが正しい姿勢です。最近、背中が丸くなってきたと思う方は是非チェックしてみてください。

